



「ふるさと研究活動」は、子どもからおとなまで、幅広い世代の市民のみなさんの参加により、ふるさと所沢の自然・歴史・芸術・文化・産業など、様々な分野の資料や情報を集め、調査・研究を深めてゆく活動です。「所沢のことをなんでも知りたい！」方のご参加をお待ちしております。

ふるさと研究エリア 企画展

開催中!

星と所沢のものかたり

「世界天文年 2009」の今年、生涯学習推進センター開設記念として、所沢市に残る天体に関連する資料等を展示・紹介する企画展を開催しています。

星というキーワードのもと「ふるさと所沢」を再発見してみませんか？

【会期】 平成21年7月14日（火）～9月6日（日）
午前9時～午後5時 ※月曜休み

【会場】 生涯学習推進センター3階 企画展示室

【主な展示資料】 所沢市指定文化財「旗本沢氏画像」、
同「岩崎獅子舞」の獅子頭・花笠、
同「漆紙文書」（東の上遺跡出土）、
三ヶ島葎子日記、
株式会社ビクセン資料 など

【協力】 株式会社 ビクセン

【後援】 世界天文年 2009 日本委員会

【体験学習会】 ①部分日食を見よう！（7月22日 10:00～12:00）

※定員に達しました。多数のご応募ありがとうございました。

②七夕に星を見よう！（8月26日 18:00～20:00）

※定員 30名

8月1日から往復はがきにてお申し込みを受け付けます。

詳しくは下記までお問い合わせ下さい。



日月の作り物で飾られた花笠と獅子頭



その他7月中にご覧いただけるもの

内容	場所
常設展示室 所沢の歴史・昔の暮らし・自然など	3階中央棟奥
メモリアルルーム 並木東小学校の「記憶」	3階中央棟中央
並木地区の移り変わり～並木地区の移り変わりミニ写真展	南棟3階階段脇の掲示スペース
今月の航空写真 所沢駅付近～平成9年・平成3年・昭和60年	3階中央棟廊下壁

閲覧学習室を利用してみませんか？



北棟3階閲覧学習室では、皆さんの「ふるさと研究」をバックアップする資料を公開中です。様々な所蔵資料から、今回は地図についてご紹介します。

地図はただ眺めているだけでも楽しいものです。閲覧学習室で利用できる地図には、大きく分けて、所沢市（町）が作成したものと、その他の機関（国土地理院など）が作成したものがあります。所沢市が作った白図には、1枚で市内全域が収まる「全図」（1:50,000、1:25,000、1:15,000、1:10,000）と、分割された「現況図」（1:2500または1:3000）があります。「1:」の後の数字が大きいほど縮小率が高い、つまり同じ範囲を表す1枚の大きさは小さくなります。

現況図は、皆さんの住居や学校など、調べたいポイントが決まっている場合、開発状況など周辺の移り変わりを見て取るのに便利です。市域全体の变化を知るためには、全図のうち1:15,000か1:25,000のものが手頃な縮尺でお勧めです。

閲覧学習室の利用にあたっては、職員が常駐していないため、3階企画展示室か4階研究室（事務室）の職員までお申し出下さい。事前にお電話などで開室の時間を予約することもできます。

	1:50000	1:25000	1:15000	1:10000	現況図
S27			○		
S28~31					△
S35		○			
S39		○	○	○	△
S44修正			○		
S45		○			
S49修正		○	○	○	○
S54		○	○		△
S57	○				△
S61	○	○		○	○
H3	○		○		○
H6					○
H7	○				
H12		○	○	○	○
H15	○				
H17	○	○	○	○	△

注・Sは昭和、Hは平成を表す。

・△印は全域ではなく一部のみ所蔵。

・現況図のうち、S39年以前の縮尺は1:3000、49年以降は1:2500。

ハレー彗星に握り飯の山？

ふるさと研究市民トピック vol.1



日食や彗星の出現など天体の異変に関する過去の記録というと、今日のような観測機器が発達する以前ではなかなか残っていません。所沢市域では、三ヶ島葎子の日記にハレー彗星や月食の記述がみられます。

ところで、ハレー彗星（ハリ彗星ともいう）は約76年周期といわれており、最も近い出現は1986年（昭和61年）でしたが、その前は1910年（明治43年）でした。このときの所沢近辺の記録として、当時の『国民新聞』埼玉版に興味深い記事が載っています。記事は明治43年2月23日付で、それによると、3~4月頃にハレー彗星が現われると、「悪ガスを発散し、または悪疫流行して諸人死滅する」とのうわさが広がり、「小豆二合と白米三合

を飯に炊いて七つの握り飯を作り、石鳥居のある南向きの神社へ一つずつ納めれば災厄を免れる」という迷信で、小手指村（当時）の北野天満宮の拝殿には握り飯が山と積み上げられたというのです。

ハレー彗星の接近によって、毒ガスで人類が死滅するのではないかといった話が当時流布したようですが、この記事から、実際に所沢でも人びとが迷信によって混乱したことが知られます。（新聞記事は『所沢市史調査資料別集7』102・112ページで読むことができます）

※次回から、このコーナーでは市民の方々から寄せられたふるさと研究情報を掲載していきます。「これぞ!」という情報を奮ってお寄せ下さい。